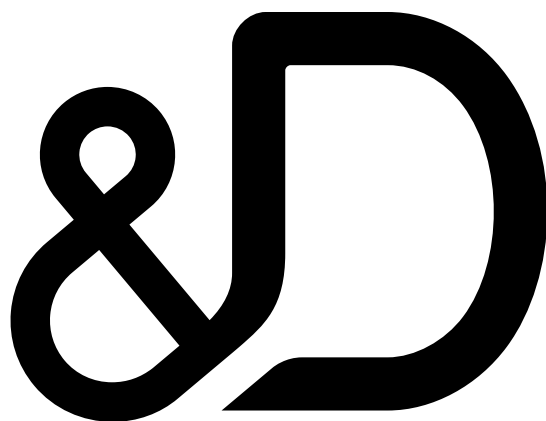
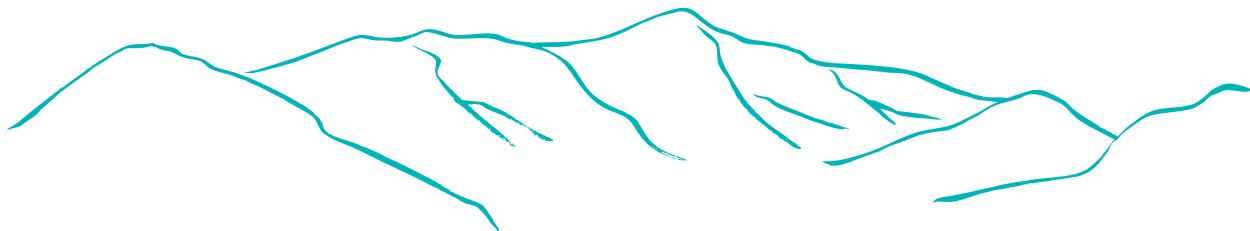


参加者募集

2022



YAMAGATA & D PROJECT



【勉強会 + 東北芸術工科大学学生との交流】

パーパスを探究し、
デザイン思考で、
次の一手を考える。

新しい製品、
新しい事業、
新しい経営。

6.14(火)

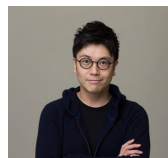
まずはこちらを受講してください！

デザイン活用セミナー

講師：石川俊祐氏、会場：オンライン

時間：13時30分～15時30分

申込〆切：令和4年6月9日(木)



石川俊祐氏



中山ダイスケ氏

▶ 本セミナー受講後、希望者は勉強会参加にエントリーできます。詳しくは裏面をご覧ください。

県内の経営者・リーダー層が、VUCA*と表現される不確実な社会での自社のパーパス(存在意義)を探究し、デザイン思考を実践しながら、企業としての持続可能性を高める新しい事業や目指すべき経営のあり方を考えます。また、東北芸術工科大学の学生との交流を通じて、双方の魅力の共有とコミュニティの形成を促し、県内におけるクリエイティブ人材の育成と、デザインの活用促進を目指します。

*VUCA: Volatility (変動性)・Uncertainty (不確実性)・Complexity (複雑性)・Ambiguity (曖昧性)の頭文字を合わせた言葉。新型コロナウイルス感染拡大など現在の社会経済環境が極めて予測困難な状況に直面しているという時代認識を表す。



【今なぜデザインなのか？】

テクノロジーの進化、価値観の多様化、気候変動、感染症の拡大など、複雑で不確実な現代において、どのようなモノやコト、ビジネスが必要とされるのでしょうか？デザインには、“自社のパーパスを探究し、新たな価値を創出する”ために、“様々な要件を俯瞰的に捉え、全体性を保ちながら、より高い次元で調和させる力”があります。今こそデザインの活用に一歩踏み出してみませんか？

【内容】

- ◎対象：新たな展開を考えている県内企業
*経営・リーダー層+実務者の2名チームが基本
*全回参加可能な企業
- ◎定員：5社（セミナーは定員無し）
- ◎期間：令和4年7月～12月（予定）
- ◎参加費：無料
- ◎会場：山形県工業技術センター（山形市）
*講師はオンライン参加
- ◎進め方：月1回程度の勉強会（全5回、講師からのレクチャー等）を実施し、会と会の間に事務局との個別検討を実施します。別途東北芸術工科大学学生との交流、発表会も行います。
- ◎参加方法：デザイン活用セミナーを受講し、エントリーシートを提出。エントリーシートを元に講師と協議の上、勉強会への参加企業を決定します。

【体制】



株式会社 KESIKI
パートナー 石川俊祐氏
事業ディレクター/
企業チーム講師



東北芸術工科大学
学長 中山ダイスケ氏
学生チーム総指揮



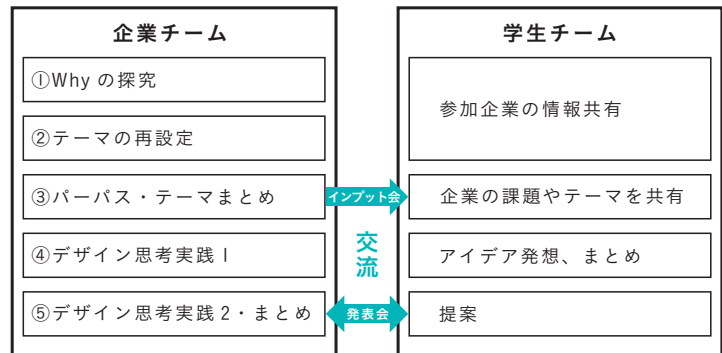
デザイン活用セミナー

講師：石川俊祐氏
会場：オンライン
日時：令和4年6月14日（火）13時30分～15時30分
演題：「デザインのちから」

まずはこちら！
勉強会の詳細も
説明します。

エントリーシート提出
→参加企業決定

勉強会



*各企業別の課題を検討
*グループワークも有り

*1チーム2名×5チーム（予定）
*企業の課題を独自の視点で考える

【令和3年度 参加企業の声】

- ・最初には考えてもいなかったアイデアにたどり着けた。
- ・見た目などの表面的なアドバイスではなく、商品づくりの根本的な手法を学べた。
- ・自社だけでは見えにくい課題や疑問が、講師や他社の方とのコミュニケーションの中で見えてきた。
- ・先行き不透明、混沌とした状況下で、下請けからの脱却に向けた多くのヒントが得られた。
- ・中小企業が抱える課題やモヤモヤを導いてくれる、本当に素晴らしいプログラムだった。



【お申込み・お問合せ】

以下をご記入のうえ、メールにてお申込みください。

企業名/役職/参加者氏名/住所・連絡先

*後日セミナーへのアクセス情報を連絡します。

*申込〆切：令和4年6月9日（木）

送信先：yxdesign@yrit.pref.yamagata.jp

事務局：山形県工業技術センター

連携支援部デザイン科（大場・月本・木川）

〒990-2473 山形市松栄2-2-1

TEL 023-644-3222 / FAX 023-644-3228

<https://www.yamagatanodesign.jp/>

「やまがたのデザイン」で検索